

福岡市ボート協会

【設立年月日】

1960（昭35）年

【加盟年月日】

1964（昭39）年

【歴代会長】

1968（昭43）年 楠 根 宗 生

1970（昭45）年 高 木 康 敬

1975（昭50）年 中 森 宏

1993（平5）年 川 崎 八千雄

【歴代理事長】

1960（昭35）年 鈴 木 淳 弥

1966（昭41）年 柴 戸 一 成

1970（昭45）年 隈 陽 一

1971（昭46）年 光 武 新 人

1975（昭50）年 浜 上 潮 児

1976（昭51）年 新 原 重 範

1993（平5）年 富 谷 猛

【沿革】

1964（昭39）年開催の東京オリンピックを目指し、全国各地でクルー強化の動きが顕著になりつつあった1960（昭35）年頃、福岡の地での選手育成と強化、さらにボート競技の普及発展を期し、当時、福岡市役所勤務の傍ら、九州大学ボート部のコーチをしていた鈴木淳也（故人）が中心となり、福岡市漕艇協会が設立されました。

当時は、シートを固定した6人漕ぎのフィックス艇で大会を行い、那珂川や、多々良川の河口・海岸部が主な活動の場であったと聞き及びます。

鈴木氏物故の後、世話役となる人材に恵まれることなく活動が低迷しましたが、1970年代に入り、社会人の参加を中心とした活動に主眼をおき競技人口の拡大と、永年活動の場を提供する動きが始まりました。

初心者教室の開催や、経験者交流レガッタ開催などを実施する傍らで、全国各地から福岡に集散する

ボート競技経験者の連絡網づくりと、競技再開希望者のバックアップを行いながら、今日にいたり、競技の普及・大衆化に貢献してきています。

「漕艇」という呼称は、永く親しまれてきていますが、1998（平10）年、「日本漕艇協会」が「日本ボート協会」に名称変更したことから、「福岡市漕艇協会」も、1999（平11）年1月1日をもって「福岡市ボート協会」と名称を変更しました。

また、2006（平成18）年12月、特定非営利活動法人格を取得、2007（平成19）年4月に、香椎浜埠頭協会艇庫を建設、今日の活動拠点となっています。

【現在の活動】

主催する競技会の大きな特徴は、年齢・経験によるハンディを調整して広範な参加者層を確保する事を狙いとしていることです。初心者の部、中高年齢者の部、第一線級選手の部、壮年の部、男女混合の部など、気軽に参加しやすい工夫を加えています。40年以上にわたりこの形で実施してきており、毎年、常連クルーの交流もにぎやかに行われるようになってきました。

<福岡市民レガッタ>

1961（昭36）年より、市内中心部にある大濠公園にて毎年11月23日に実施されてきている息の長い市民大会です。（旧称：福岡市民競漕大会）

かつては、直線600Mの距離で実施されていたのですが、噴水建設とそれに続く水面の仕切工作物のために、350Mという中途半端な距離でのレースを余儀なくされてしまい、噴水は、公園改修工事の折に撤去されたものの、水面仕切り柵のみ復元され、今日にても350Mでのレースしかできない環境となっています。しかしながら、関係者には非常に人気の高い大会となっており、この大会期間にあわせ、わざわざ帰福するという名物選手があったり、またこの日にあわせてOB会を開催するという団体もあるようです。

なお、この大会は、福岡市民総合スポーツ大会が開催されるようになってから、同大会「ボート競技の部」と位置づけられています。



<山笠レガッタ>

1973（昭48）年夏、ひところ汚染のひどかった那珂川がきれいになりはじめ、魚の泳ぐ姿も散見されるようになったため、中断して久しい那珂川でのボートレースを再開しようとの試みがなされ、多くの関係者が集まる中、大成功をおさめました。

この翌年から、市長杯・毎日杯をいただく山笠レガッタが定期開催されるようになり、今日に至っています。繁華街の水面を活用した大会開催は類例が僅少であり、特異な存在感を持っているため、九州各地は言うに及ばず、関東・関西方面からの遠征クルーも増えてきています。

「福博であい橋」ができたことで、観覧に格好のスポットを得たかたちとなり、一般市民の見物や声援もにぎやかとなり、選手への大きな励みにつながっています。



<親子ボート教室>

香椎浜ふ頭に建設した艇庫を拠点として、年3回前後、親子ボート教室を実施しています。参加者の顔ぶれの中には、「常連」となった方々も多く、将来の選手育成につながれば…と期待しているところです。

<日韓友好親善レガッタ>

2010（平成22）年3月、釜山広域市・韓国ボート協会の協力を得て、クルーを招致し、協会艇庫前のアイランド南部100m水路にて、第1回目の友好親善レガッタを実施しました。今後、継続しての隔年開催を目論んでおり、事業の柱の人地と位置づけているものです。

<主要年間活動>

4月初旬	松浦川交流レガッタ選手派遣
4・5月	親子ボート教室
5月中旬	九州朝日レガッタ参加者支援
6月中旬	国体福岡県大会参加者支援
7月初旬	山笠レガッタ（那珂川）開催
8月上旬	親子ボート教室
9月中旬	慶ROWフェスタ
9月下旬	国体本戦参加者支援
11月23日	福岡市民競漕大会（大濠）開催
1月下旬	トレーニング講習会
2月下旬	審判員養成講習会

<主たる活動の場所>

福岡市東区香椎浜ふ頭2-5-2
 アイランド100m水路
 福岡市東区名島1-22
 九州大学艇庫前（多々良川河口付近）